



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高 2019

読売新聞 令和2年1月17日(金)

廃校や高齢化ビジネスに

氷上西高生アイデア発表

地域が抱える課題のビジネス化を目指し、県立氷上西高校(丹波市青垣町)の3年生が16日、研究発表をした。買い物足の悩む高齢者を助けるサービスや、宿泊施設としての廃校活用などの案を披露した。

日本政策金融公庫が2019年度に募集した「第7回高校生ビジネスプラン・グランプリ」に、初めて氷上西高から応募した4件の

アイデア。公庫や丹波市の関係者らを招き、17人が目的や実現の課題、収支計画について説明した。

廃校となった青垣町内の



地域の課題から考えたビジネスを発表する氷上西高校の生徒たち(丹波市青垣町で)

小学校を宿泊施設にする案は、パラグライダー体験やホテル見物の拠点とする内容。高齢者の買い物代行サービス業、中高生が集まるレストランとしての古民家活用など、地域を知る高校生ならではの発想豊かなプランが示された。

日本政策金融公庫の谷口大・尼崎支店長は「細かく考えた収支計画があった」と感心し、西山茂己・市産業経済部長も「市の大きな課題から発想し、良い視点を与えてもらった」と講評した。